【大刀洗町章】

大刀洗町のタを適格に呼ぶため、タをモチーフにしているが、タの現字は多であり、三村合併により大きくなった意味もある。そのタを扇型にデザインしたもので、末広がりに発展する大刀洗町を象徴し、タの原点は空間に向かって無限に伸びる意味を表している。

町の花【サクラ】

幹の高さは5～10mの落葉高木ですが、種類によっては15mを超すものもあります。花は昔から親しまれ、日本の国花でもあります。町内の憩いの場である大刀洗公園など名所にも多く親しみ易いという理由で選ばれました。

町の鳥【ひばり】

田畑、草原や砂浜など、明るくひらけたところに住んでいます。鳴き声はピィーチュクピィーチュク。春の到来を告げてさえずり、天高く舞い上がる姿はのどかで平和な日々を感じさせ、いつまでもさえずりの聞ける環境であってほしいという理由で選ばれました。

たっくん　あっちゃん

町の木【モチノキ】

幹の高さは3～8mの常緑高木で、葉は厚くてツヤがあります。花は目立ちませんが、赤い果実がなります。厳冬に実をつけ野鳥が集い、町内に多く見受けられるという理由で選ばれました。